

Japan
Food
Research
Laboratories

第 11092875001-02 号
2011年(平成23年)11月09日

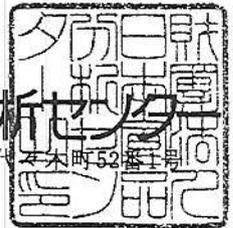
試験報告書

依頼者 株式会社 テネモスネット

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木5-2番1号



検 体 活水器「マナウォーター」〈大〉サイズ

表 題 浸出試験

2011年(平成23年)09月27日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

5 試験方法

1) 浸出操作

検体を水道水(東京都多摩市)で1時間流水洗浄した後、精製水で3回洗浄した。次に、浸出液(pH7.0±0.1, 硬度45±5 mg/L, アルカリ度35±5 mg/L, 残留塩素0.3±0.1 mg/L)で3回洗浄した。洗浄後、検体に浸出液を充てんし、約23℃で16時間静置して得られた液を試料液とした。また、浸出液を同条件で静置し、空試験液とした。

なお、依頼者指定により、コンディショニング操作は省略した。

2) 測定方法

測定方法を表-2に示した。

表-2 測定方法

項目	測定方法
カドミウム及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
水銀及びその化合物	還元気化-原子吸光光度法
セレン及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
ひ素及びその化合物	誘導結合プラズマ質量分析法
六価クロム化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	イオンクロマトグラフ法
ふっ素及びその化合物	イオンクロマトグラフ法
ほう素及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
亜鉛及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
アルミニウム及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
鉄及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
銅及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
ナトリウム及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
マンガン及びその化合物	誘導結合プラズマ発光分光分析法
塩化物イオン	イオンクロマトグラフ法
蒸発残留物	重量法
フェノール類	固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	全有機炭素計測法
味	官能法
臭気	官能法
色度	透過光測定法
濁度	積分球式光電光度法
ホルムアルデヒド	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法

以 上

4 試験結果

結果を表-1に示した。浸出試験を行った項目の試験結果は、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年厚生省令第14号)別表第1に示された、給水装置の末端以外に設置されている給水用具の浸出液、又は給水管の浸出液に係る基準以下であった。

表-1 浸出試験結果

項目	基準	結果	定量下限
カドミウム及びその化合物	0.003 mg/L以下	検出せず	0.0001 mg/L
水銀及びその化合物	0.0005 mg/L以下	検出せず	0.00005 mg/L
セレン及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
鉛及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
ひ素及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L
六価クロム化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/L以下	0.4 mg/L	***
ふっ素及びその化合物	0.8 mg/L以下	0.10 mg/L	***
ほう素及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.1 mg/L
亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L以下	0.02 mg/L	***
アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/L以下	0.08 mg/L	***
鉄及びその化合物	0.3 mg/L以下	検出せず	0.03 mg/L
銅及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L
ナトリウム及びその化合物	200 mg/L以下	33 mg/L	***
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下	0.011 mg/L	***
塩化物イオン	200 mg/L以下	検出せず	5 mg/L
蒸発残留物	500 mg/L以下	55 mg/L	***
フェノール類	0.005 mg/L以下	検出せず	0.0005 mg/L
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	3 mg/L以下	0.4 mg/L	***
味	異常でないこと	異常なし	***
臭気	異常でないこと	異常なし	***
色度	5度以下	1.2度	***
濁度	2度以下	0.35度	***
ホルムアルデヒド	0.08 mg/L以下	検出せず	0.008 mg/L

区分：給水管等

浸出試験

1 依頼者

株式会社 テネモスネット

2 検 体

活水器「マナウォーター」〈大〉サイズ

3 試験概要

検体についてJIS S 3200-7 : 2004「水道用器具-浸出性能試験方法」により、カドミウム及びその化合物等の浸出試験を行った。